

建築研究所ニュース



平成23年8月4日

東日本大震災の後、実施された「耐震建築人材育成プロジェクト」による「中国耐震建築研修」の研修生14名が帰国

3月11日の東日本大震災の後、建築研究所・国際地震工学センターにおいて実施された第3期「中国耐震建築研修」の研修修了生14名が、約2ヶ月間の研修を受講し、8月2日に閉講式を終え、翌日帰国の途につきました。本研修は、2008年5月に発生した中国四川大地震に対する日本政府の復興支援のため、国際協力機構（JICA）が実施する「耐震建築人材育成プロジェクト」の一環として、一昨年度から4カ年の計画で実施されています。

国際地震工学センターでは、これまで国際地震工学研修を実施してきた実績（96ヶ国1,491名の研修修了生）を活かし、中国全土からの14名の構造技術者等を対象に、2011年6月7日より8月2日までのスケジュールで「中国耐震建築研修」を実施しました。

研修生は熱心に講義・見学に参加し、8月1日の最終発表会では日中の耐震設計法の比較や、日本の技術を活用した中国の建築物の耐震化について、活発な意見交換が行われました。また、岩手県内の東日本大震災の被災地を見学する等、東日本大震災の教訓を踏まえ実施した充実した研修内容であり、帰国後は、四川大地震で被災した中国の小中学校の耐震診断・補強に日本の技術と経験を生かしたいという意見が多くありました。

本研修によって、耐震建築技術に関する中国の構造技術者の理解が深まるとともに、中国国内、特に耐震対策が緊要と考えられる地方の住宅、学校、病院等の建築物についての耐震技術が今後益々普及することが期待されます。



写真1 第3期の中国研修員



写真2 被災現地見学（田老町）

<参考：研修の概要>

研修期間：平成23年6月7日（火）～8月2日（火）

場所：(独) 建築研究所

参加者：中国構造技術者14名

主な講義内容

耐震設計、耐震診断および補強、免震・制振構造、超高層建築など

(内容の問合せ先)

独立行政法人 建築研究所

所属 国際地震工学センター

管理室長

氏名 黒澤 肇

電話 029-879-0678(直通)

E-mail kurosawa@kenken.go.jp

